

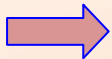
平成25年度「対話と実行座談会」ご意見の反映

県の進めている政策の中から3つのテーマを設定し、それぞれの分野での座談会を開催しました。座談会でいただいた皆さまからのご意見と、県政に反映された主なものをご紹介します。

福祉・介護の人材育成

【ご意見】小さいころから高齢者とふれあう体験や機会を各地域で作り上げていくことで、介護の仕事に関心を持ってもらうことができるのではないか。

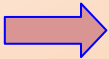
子どもと高齢者のつながりを深めるための新たな体験事業の実施と教育資材の提供



学校と施設などが連携し、子どもの福祉・介護職場に対する理解を深めるような新たな体験事業等を実施します。あわせて、総合学習などで福祉教育を推進するための教育資材を考案し、学校現場に提供します。

【ご意見】介護職員の職場環境をより良くするためのサポートをしてほしい。

抱えあげない介護を目的として、介護福祉機器の導入を行う事業者に対して助成



介護職場では腰痛発生率が高い状況にあるため、職場の就労環境を改善するため、介護福祉機器（介護用リフト、高さ調節付き電動ベッドなど）を導入しようとする事業者に対して助成を行います。

移住促進

【ご意見】お試し移住施設の運営には、旅館業法等に基づき施設整備が必要となる場合があるが、NPOではお金をとることが目的ではないので、負担した費用が回収できない。



住宅整備等に要する経費や空き家の荷物整理、処分に要する費用を補助

お試し滞在施設などの移住者を受け入れるための施設整備について、NPO等でも実施可能なよう補助を拡充します。

【ご意見】帯屋町を歩いているだけでも、Wi-Fiでツイッターにアップできるようなネット環境整備等に、力を入れていますということが高知県のPRになる。



ネット（Wi-Fi）環境整備の拡大を促進

Wi-Fi環境については、帯屋町商店街や県立牧野植物園をはじめとして、利用可能エリアの拡大が進んでいます。また、歴史民族資料館や坂本龍馬記念館など主な県立文化施設と県庁玄関ホールにもWi-Fi環境の整備を予定しています。今後は、道の駅や民間の観光施設、旅館などに必要性を周知するとともに、環境整備を働きかけていきます。

魅力ある観光地づくり

【ご意見】地域の良い素材の情報を、広域でつなげて、お客さん目線で商品化し、コーディネートしていくことが広域観光組織に求められる。また組織の機能強化も必要ではないか。



広域観光組織を核とした商品造成やセールス活動の取組を促進

全国から人を呼べる観光商品ブランドを生み出し、地域への誘客を促進するため、旅行会社の専門家等からマーケット動向や旅行トレンドを踏まえたアドバイスを受け、広域観光組織を核とした商品造成やセールス活動の取組を促進します。